



●吉田町と周辺市の人口推移

年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
吉田町	28,648人	29,243人	29,351人	29,254人	29,007人	28,644人	28,081人 (98.0%)
牧之原市	50,645人	49,219人	47,529人	45,625人	43,668人	41,628人	39,327人 (77.7%)
島田市	102,108人	100,570人	98,159人	95,058人	91,544人	87,763人	83,627人 (81.9%)
藤枝市	141,944人	140,898人	138,463人	134,768人	130,136人	124,724人	118,589人 (83.5%)
焼津市	143,101人	142,855人	140,984人	137,839人	133,791人	129,071人	123,735人 (86.5%)

※1 藤枝市の人口は、岡部町の人口を加えたものです。下表の藤枝市も同じです。
 ※2 2035年の（ ）内の数字は、2005年の人口に対する2035年の人口の比率です。

●吉田町と周辺市の2035年の人口の構成比較

項目	人口	年少人口 【0歳～14歳】	生産年齢人口 【15歳～64歳】	老年人口【65歳以上】	
				【65歳～74歳】	【75歳以上】
吉田町	28,081人	3,241人 (11.5%)	16,174人 (57.6%)	8,665人 (30.9%)	5,251人 (18.7%)
牧之原市	39,327人	3,500人 (8.9%)	21,248人 (54.0%)	14,579人 (37.1%)	9,433人 (24.0%)
島田市	83,627人	8,336人 (10.0%)	45,631人 (54.6%)	29,660人 (35.5%)	18,481人 (22.1%)
藤枝市	118,589人	11,295人 (9.5%)	63,143人 (53.2%)	44,150人 (37.2%)	28,094人 (23.7%)
焼津市	123,735人	12,898人 (10.4%)	68,822人 (55.6%)	42,015人 (34.0%)	25,705人 (20.8%)

※（ ）内の比率は、人口に対する比率です。

74

吉田町の人口

③

2035年の吉田町の人口

昨年の12月24日、国立社会保障・人口問題研究所は全国の市区町村別の人口について、2035年（平成47年）時点での推計値を公表しました。公表された将来推計人口は、2005年（平成17年）に行われた国勢調査の結果を分析し、導き出されたものです。2005年に行われた国勢調査では吉田町の人口は28,648人、前回の2000年（平成12年）の国勢調査での27,492人と比較して1,156人（4.2%）の増加を示し、長泉町（7.0%）、袋井市（5.4%）に次いで県下で3番目の伸び率と話題になりました。2035年の吉田町の人口は、28,081人と推計されています。26年後の吉田町の人口は、2005年の国勢調査の人口と比較して98.0%に留まり、差し引き2%の減少というところですが、2035年において、2005年よりも人口が増加すると推計されている市町は、県下では長泉町（106.8%）、袋井市（104.6%）

（6%）だけとなっています。吉田町を取り巻く牧之原市、島田市、藤枝市、焼津市の人口の推移については、次頁の表をご覧ください。
 なお、今回の国勢調査は2010年（平成22年）に行われますが、その結果に基づいて発表される吉田町の推計人口は、現在の人口の増加傾向から見ると、公表された2035年時点での推計人口28,081人よりもはるかに大きな数字が出るものと考えられます。

人口の年齢別の構成

公表された推計人口によれば、全国の1,805市区町村のうち、2005年と比較して2035年の人口が2割以上減る自治体が6割以上のぼり、住民の4人に1人が75歳以上の自治体が半数を超えています。それでは、2035年時点での吉田町の人口28,081人について年齢別の構成を見てみましょう。まず、0歳から14歳までの年少人口は3,241人（11.5%）、次いで、15歳から64歳までの生産年齢人口は16,174人（57.6%）、最も多いのは65歳以上の老年人口8,665人（30.9%）です。このうち65歳から74歳までは3,414人（12.2%）、75歳以上は5,251人（18.7%）と推計されています。ちなみに、65歳以上の老年人口のうち65歳から74歳までは3,414人（12.2%）、75歳以上は5,251人（18.7%）となっており、吉田町のそれぞれの人口構成は、県下37市町のうち年少人口は上位から3番目、生産年齢人口は上位から6番目、老年人口は下位から5番目に位置しています。なお、75歳以上の人口構成も、老年人口と同じく下位から5番目です。

今後のまちづくり

今回公表された市区町村別の将来推計人口は、今後のまちづくりに対する

町のみなさん、お元気ですか。大事な視点を近未来から贈られたとも言えます。まず、2005年の国勢調査では18.7%であった高齢化率（65歳以上の高齢者が人口に占める割合）が、2035年の推計人口では、30.9%と増加することから30歳代後半以上の方々を対象とした健康づくり施策の強力な推進と社会参加の機運醸成を図る必要があります。次いで、若い人々が吉田町で家庭を築きたいという想いを抱いてもらうように就業機会の拡大と魅力ある行政サービスをきめ細かに提供し、年少人口と生産年齢人口が増加するようにこれまで以上に努めることが大事であることは言うまでもありません。

